

バイオマス変換研究会からのお知らせ

(1) 第13回バイオマス部会・研究会合同交流会

「マテリアル利用が先導するバイオマス利活用のイノベーション」

バイオマス合同交流会は、バイオマス研究に関係する6つの団体が毎年開催している合同交流会です。様々な研究のバックグラウンドを有するバイオマス研究者の交流を目的としています。今年度は、日本木材学会バイオマス変換研究会が担当し、表記のテーマで交流会を開催いたします。

日時:2013年10月25日(金)13:00~17:35、交流会17:45~19:15

場所:東京大学弥生講堂一条ホール(文京区弥生1-1-1 Tel.:03-5841-8205)

講演者

東京大学大学院農学生命科学研究科・鮫島正浩

「木材のマテリアル利用とエネルギー利用の理想的な共存化」

(独)森林総合研究所バイオマス化学研究領域・山田竜彦

「バイオマスの価値を向上させるリグニンの高度マテリアル利用システムの開発」

京都大学生存圏研究所・矢野浩之

「未来の車は植物で創る - セルロースナノファイバーで見る夢 -」

日本バイオプラスチック協会・猪股 勲

「バイオマス利活用によるバイオプラスチックの進展拡大」

◆参加申込要領◆

●事前参加申込締切:2013年10月11日(金)

(当日参加の方は、会場にて参加登録と参加費の支払いをお願いいたします。)

●申込方法:バイオマス変換研究会ホームページ(<http://www.jwrs.org/kenkyu/biomass/>)から参加申込書をダウンロードして(あるいは本案内の申込書を用いて)、ファックスまたはメールの添付ファイルにて、事務局(E-mail: biomass@kais.kyoto-u.ac.jp、FAX: 03-5841-1304)までお申し込みください。

(2)リグニン討論会「若手の会」

リグニン討論会終了後、日本木材学会「バイオマス変換研究会」との共催行事として「若手の会」を開催いたします。

日程:2013年11月13日(水)~11月14日(木)

場所:トRESTA白山(<http://www.tresta.jp/>)(懇親会・宿泊は同会場で行います。)

参加費:学生/6,000円、一般/10,000円(参加費には懇親会費・宿泊費が含まれます。)

アクセス:討論会終了後に送迎バスがあります。(ことでん長尾線 白山駅から徒歩1分)

講演: 若手研究者の研究環境について(数名の若手研究者に、ポスドク体験記、海外留学体験記等を話していただきます。)

見学会: 14日の朝にバイオマス発電施設(交渉中)の見学、昼食後、解散。

(3) 年次大会時の抽出成分利用研究会との合同企画(講演会)

平成25年度の学会大会開催地となっている松山(愛媛県)は多種の柑橘が栽培され、多くの農産加工産業が盛んである。これらの柑橘類食品加工の工程で排出される搾汁や果皮等の廃棄物の利用研究が産官学で行われており、松山で学会を開催する機会に、愛媛県周辺の産官学の柑橘類抽出成分関連研究者と互いの研究成果についての知識を深め、今後の研究活動に貢献することを狙いとしている。

日時: 平成26年3月15日(土)午後

会場: 愛媛大学城北キャンパス